



## 100年を超えて成長し続ける企業へ

「回るもの、動くもの」に欠かせないモータは、電気で動くあらゆるモノの基幹部品として人々の豊かで快適な暮らしになくてはならない存在です。同時に、モータは世界で発電される電力量の約半分を消費していると言われるほど、地球環境と大きな関わりがあります。

日本電産は、エネルギー効率の高いモータや関連製品を供給し、世界の消費電力や二酸化炭素排出量の削減に寄与しています。「世界一高性能なモータで地球に貢献する」との使命を掲げ、モータで培ってきた駆動技術と、制御技術や通信技術などの新しい技術との融合を進め、「グローバル総合電機メーカー」へと進化していきます。世界が抱える課題への解決策を提供し、持続可能で豊かな社会を実現するためになくてはならない企業を目指します。

代表取締役会長

永守重信

## 売上高10兆円企業への布石

日本電産は、技術革新の5つの大波に乗ろうとしています。電気自動車に代表されるクルマの電動化や、家電の省電力化、物流革命、ロボット化、5G導入に伴うデジタルデータの増加、という5つの分野は、世界が直面している課題の解決に向けて強く求められている有望な成長市場です。当社がこれまでに培ってきた高い技術力があれば、これら5つの大波をすべて制し、世界の持続的な発展に貢献できる可能性が大いにあります。

当社は2030年度に売上高10兆円という目標を掲げています。高い目標ではありますが、当社は夢を形にする企業です。夢を現実に手繰り寄せる永守会長の強いリーダーシップを着実に引き継ぎ、当社の更なる成長に向けて邁進していきます。

代表取締役社長執行役員  
(最高経営責任者)

関 潤

## 通期の業績予想を上方修正

2021年度上半期の業績は前年同期比で増収増益となりました。半導体などの部品調達難や、新型コロナウイルス感染拡大による海外製造拠点のロックダウンなどの影響があったものの、売上高は前年同期比21%増収の9,107億円で過去最高を更新、営業利益は同30%増益の902億円となりました。これを受けて通期の業績予想を上方修正しています。

新中期戦略目標「Vision 2025」<sup>\*</sup>では、2025年度に売上高4兆円（3兆円：自律成長、1兆円：新規M&A）、また自律成長分（売上高3兆円）の営業利益率15%以上、ROIC（投下資本利益率）15%以上を目指します。特に高成長を担う車載事業と家電・商業・産業用事業は、それぞれ売上高1兆3,000億円を目標としています。

車載事業では、電気自動車用駆動システム（E-Axle）に大きな需要が期待できます。世界各国の環境規制強化を受けて、電気自動車の需要拡大がますます見込まれるからです。当社の電気自動車用駆動システムは、すでに10車種に採用されており、この市場において競争優位を確立しつつあります。家電・商業・産業用事業でも、世界的な省エネ・省電力化の流れを受けて、モータの高効率化需要が高まっています。地球環境にやさしい当社のブラシレスDCモータが必要とされる新たな市場がグローバルで次々と誕生しています。

下半期もさまざまな外部環境の変化やそれに伴うリスクが想定されますが、経営のスピード感を重視し、引き続き全力で取り組んでいきます。

代表取締役社長執行役員  
（最高経営責任者）

関 潤

※新中期戦略目標「Vision 2025」については、P.07の「News@Nidec」でも詳しく説明しています。ぜひご参照ください。

